

STAGE+を楽しむ(29)(HP 収録)
—ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲—

1. 始めに

前報(28)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲の演奏を選びました。

作品の概要と演奏者は次のとおりです。

1) ビシュコフとチェコ・フィルのベートーヴェン&シュトラウス

バティアシュヴィリを迎えて

収録日: 2022年9月28日

本映像では、セミヨン・ビシュコフがチェコ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と、リヒャルト・シュトラウスの《アルプス交響曲》を組み合わせたプログラムを披露します。ベートーヴェンのソリストはリサ・バティアシュヴィリ。この抒情的な協奏曲を奏でるのに理想のソリストと言えるでしょう。シュトラウスでは、オーケストラのパワーが一体となり、この交響曲のために結集されています。この交響曲は、人間と自然との関係に関する壮大な哲学を物語っている上、高度な技術も求められる作品となっています。

ソリスト:

リサ・バティアシュヴィリ (ヴァイオリン)

アンサンブル:

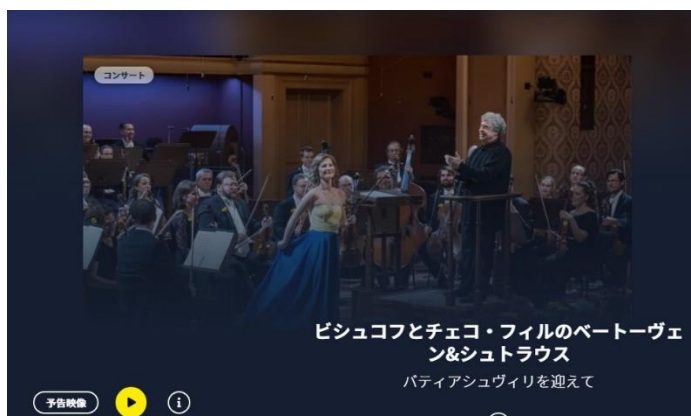
チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮:

セミヨン・ビシュコフ

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op. 61



2) ホーネック&ウィーン響がシュミットとベートーヴェンを演奏

ヴァイオリン：マリア・ドウエニャス

1. 再配信 2023年5月21日 9:00

2. 再配信 2023年5月21日 20:00

スペインのヴァイオリニスト・作曲家であるマリア・ドウエニャス。ヴォルフガング・ヘントリッヒとマレク・ヤノフスキに見出され、サンフランシスコ交響楽団でソリスト・デビューを果たすと、ユーディ・メニューイン国際コンクール第1位と聴衆賞など国際コンクールでの入賞、世界的オーケストラと共演を重ねてきました。本映像にはマンフレート・ホーネックの指揮の下、ドウエニャス自身が書いた華麗なカデンツァによるベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲、フランツ・シュミットが最後に書いた繊細な交響曲が収められています。

ソリスト:

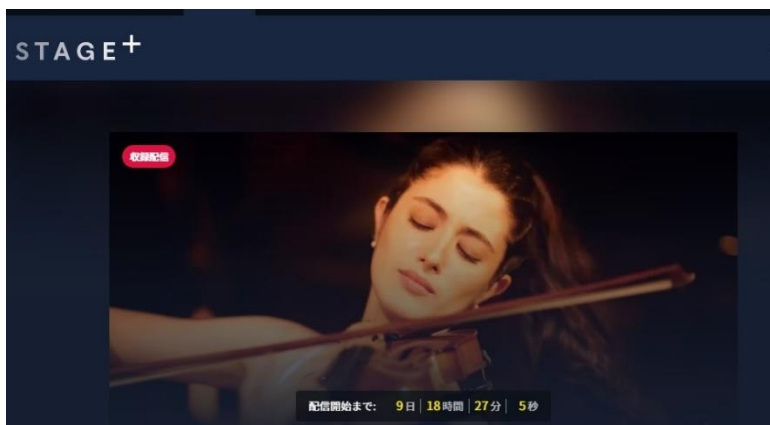
マリア・ドウエニャス (ヴァイオリン)

アンサンブル:

ウィーン交響楽団

指揮:

マンフレッド・ホーネック



3) ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 他

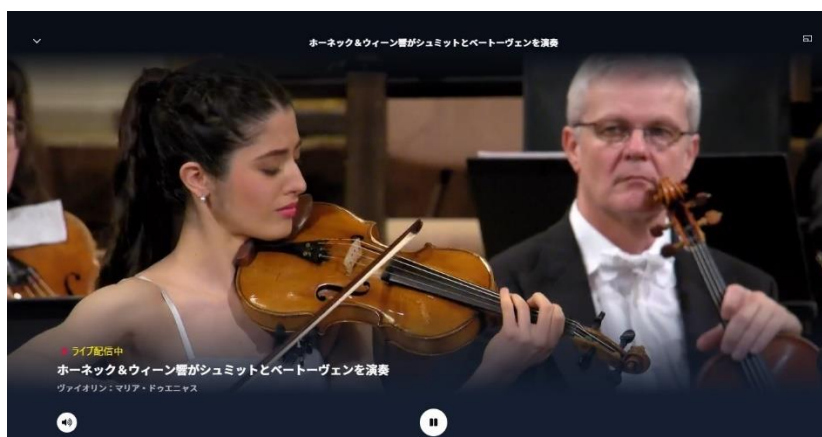
マリア・ドゥエニャス, ウィーン交響楽団, マンフレッド・ホーネック
ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品 61

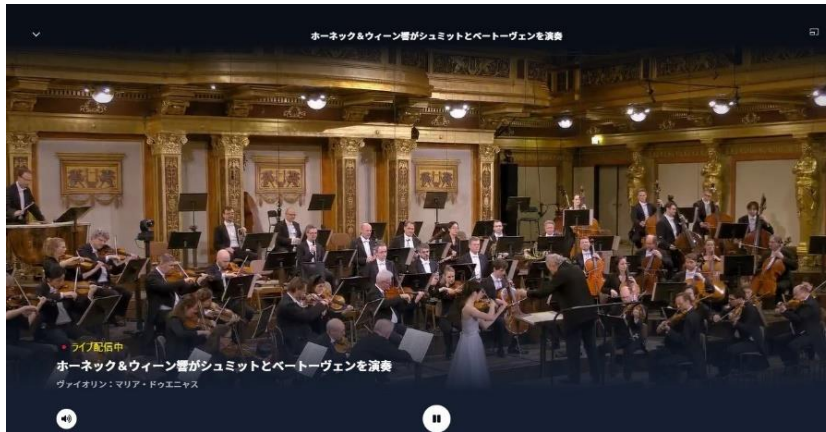


3. 試聴の経過

バティアシュヴィリとビシュコフ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団のアーカイブ配信は、ホールの美しい画像とともに、バティアシュヴィリのストラディヴァリウスエングルマンの透明感のある音のボウイングとホールの豊かな音響効果の中でのビシュコフ指揮チェコ・フィルハーモニー管弦楽団の美しい演奏が楽しめます。

ドゥエニャスとホーネック指揮ウィーン交響楽団の配信は、ウィーン交響楽団は演奏会で聴いていますが、ドゥエニャスとホーネック指揮は初めてで、ウィーン楽友協会大ホールからの再配信 2023年5月21日 9:00 を視聴しました。これまでと違って受信は安定しています。



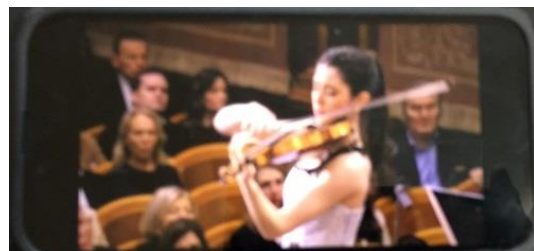


ウィーン楽友会館大ホールの美しい音響特性にも支えられ、若いドゥエニャスの清新な演奏とオーソドックスなウィーン交響楽団のコンビネーションが画像付きの高音質で楽しめました。ことにドゥエニャス自身によるカデンツアは、華麗で技巧を要するものですが、どこかラテン風の趣も感じさせながら、安定した演奏で、聴衆の盛んな反応がみられました。

アンコール2曲を挟んで、フランツ・シュミットの交響曲4番の演奏もありましたが、繊細で静かな表情を湛えていました。

ドゥエニャスとホーネック指揮ウィーン交響楽団のアルバムは、上記のライブ配信と同様、若手ながらドゥエニャスの才能が伺えます。

今回、iPhoneをiPhone 6plusからiPhone 14に買い替えましたので、イヤフォン出力がなくなったことに対し、Lightning→イヤフォンミニジャック変換アダプターも購入しました。iPhone 6plusはiOSのVersionの関係から、STAGE+のアプリが使えなかったのですが、iPhone 14のiOSのVersion upによりSTAGE+のアプリをインストールし、iPhoneでもSTAGE+が楽しめるようになりました。アダプターにもNRF-005Tを貼り、設定をAAC(320bps)にするなどして、iPhoneでもバティアシュヴィリとドゥエニャスの配信を聴いてみましたが、こちらも満足すべき音質でした。



4. まとめ

以上の3つの **STAGE+**配信は、いずれも最新の収録の演奏で、それだけに音質的にも満足できるレベルでした。これまでの仮想アース、**MRF-005T** に加えてスピーカーアキュライザーの効果も確認できました。

以上